

2023年6月

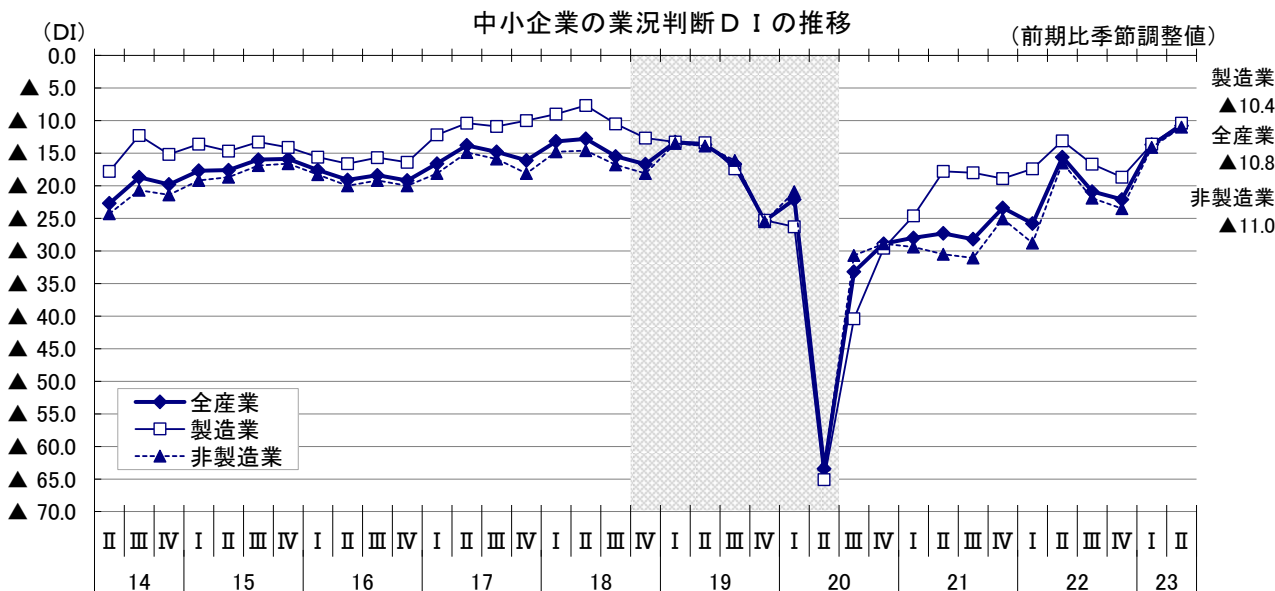
第172回 中小企業景況調査報告書 (2023年4-6月期) 〈全産業編〉

※D Iとは…

「好転」と回答した企業の割合－「悪化」と回答した企業の割合。D I値がマイナスの場合は、悪化したと回答した企業の数が多いことを示す。

独立行政法人中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課
〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
TEL：03-5470-1521（直通）
https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

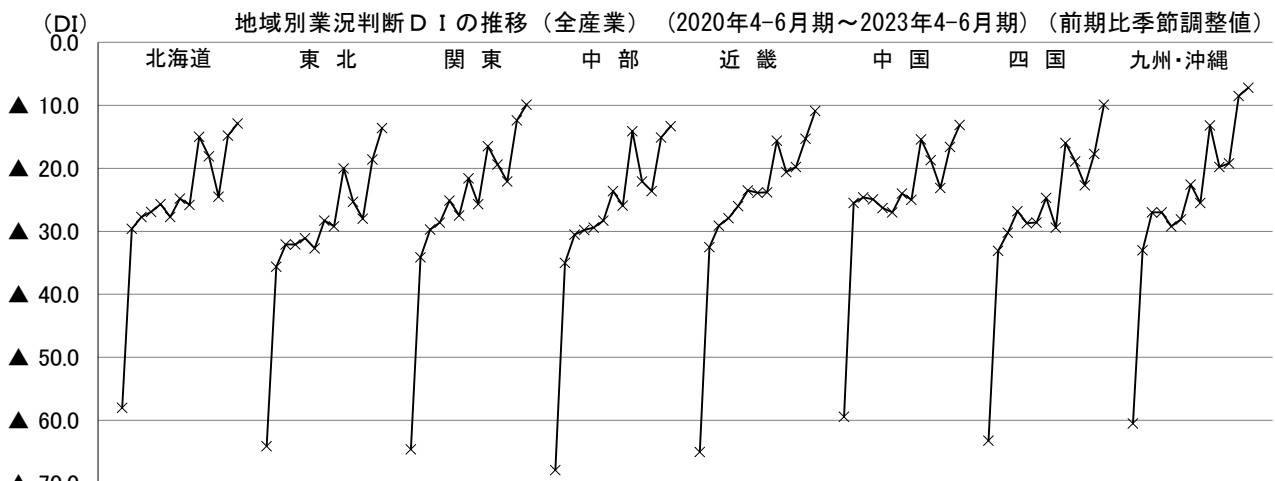
中小企業の業況判断D Iは、2期連続して上昇した。
前期と比べた全産業の業況判断D Iは、2期連続して上昇した。（▲13.7→▲10.8）



〈地域の業況〉

※網掛け部分は景気後退期

四国、東北、近畿、中国、関東、北海道、中部、九州・沖縄のすべての地域でマイナス幅が縮小した。



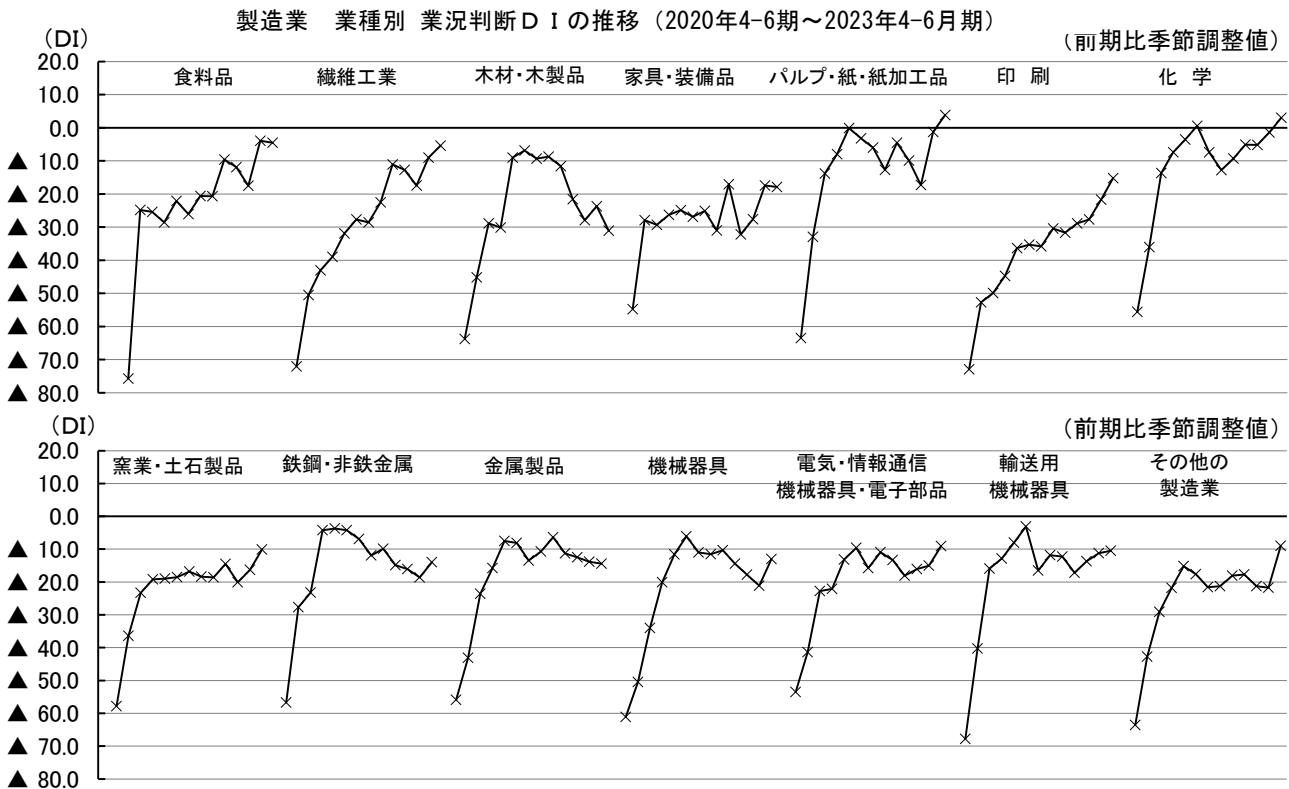
(注) 1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。
2. 関東には新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には石川、富山の各県、近畿には福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。
3. 業況判断DI=前期に比べて「好転した」企業の割合－前期に比べて「悪化した」企業の割合

1. 業況判断D I

(1) 製造業

製造業の業況判断D I（「好転」－「悪化」）は、（前期▲13.6→）▲10.4（前期差3.2ポイント増）と2期連続してマイナス幅が縮小した。

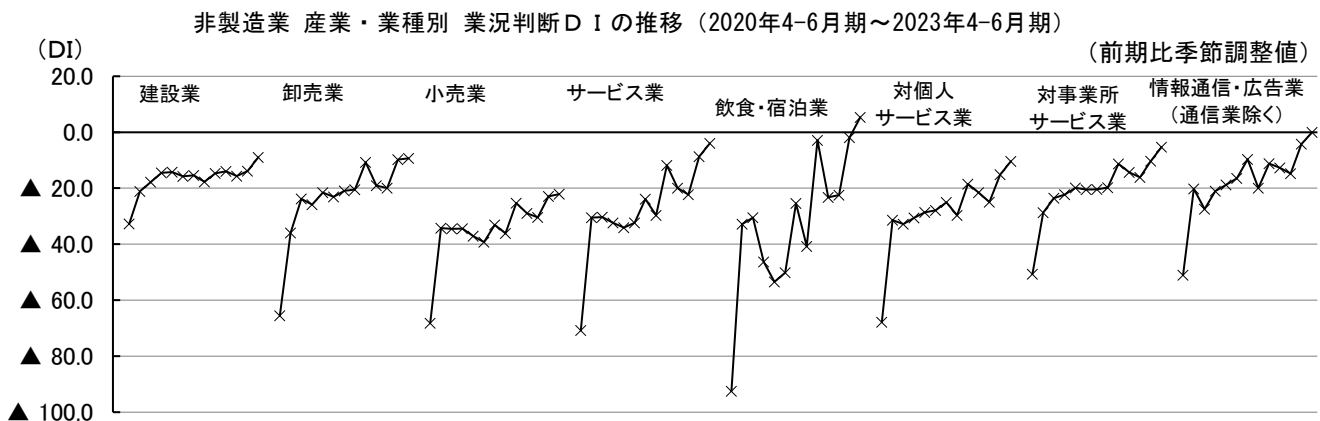
製造業の14業種の内訳では、パルプ・紙・紙加工品で3.8（前期差5.1ポイント増）、化学で3.0（前期差4.4ポイント増）と2業種でマイナスからプラスに転じ、その他の製造業で▲9.0（前期差12.7ポイント増）、機械器具で▲13.0（前期差8.1ポイント増）など8業種でマイナス幅が縮小した。一方、木材・木製品で▲31.1（前期差7.4ポイント減）、食料品で▲4.5（前期差0.6ポイント減）、金属製品で▲14.4（前期差0.6ポイント減）、家具・装備品で▲17.9（前期差0.5ポイント減）と4業種でマイナス幅が拡大した。



(2) 非製造業

非製造業の業況判断D Iは、（前期▲14.1→）▲11.0（前期差3.1ポイント増）と2期連続してマイナス幅が縮小した。

産業別に見ると、建設業で▲9.0（前期差4.9ポイント増）、サービス業で▲4.0（前期差4.7ポイント増）、小売業で▲22.1（前期差0.8ポイント増）、卸売業で▲9.3（前期差0.5ポイント増）とすべての産業でマイナス幅が縮小した。

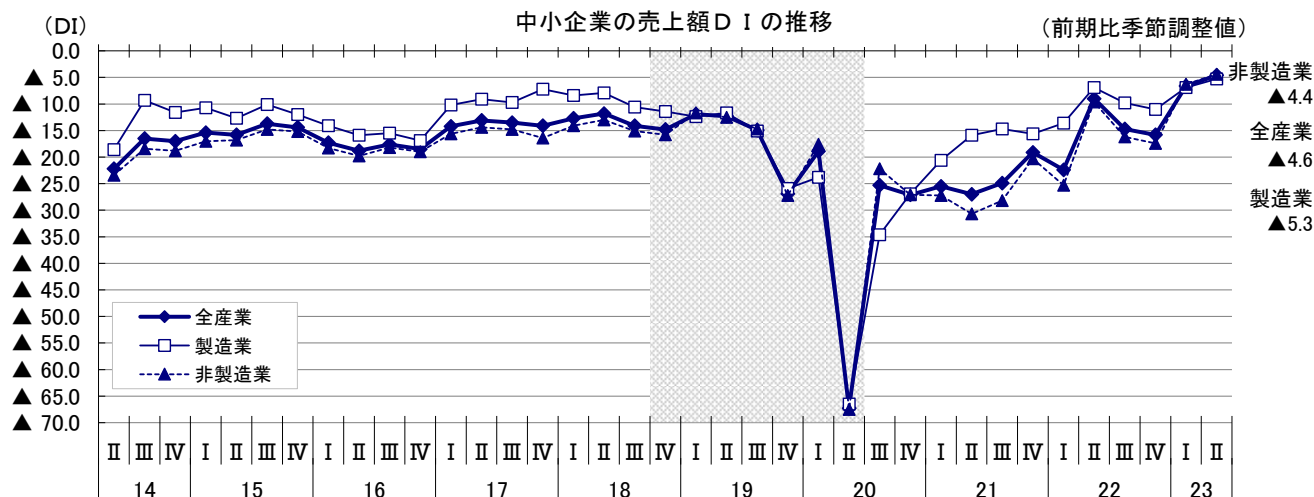


（注）「対個人サービス業」は、洗濯・理容・美容・浴場業、自動車整備業等の9業種。
「対事業所サービス業」は、道路貨物運送業、倉庫業、廃棄物処理業等の10業種。

2. 売上額D I

全産業の売上額D I（「増加」－「減少」）は、（前期▲6.6→）▲4.6（前期差2.0ポイント増）と2期連続してマイナス幅が縮小した。

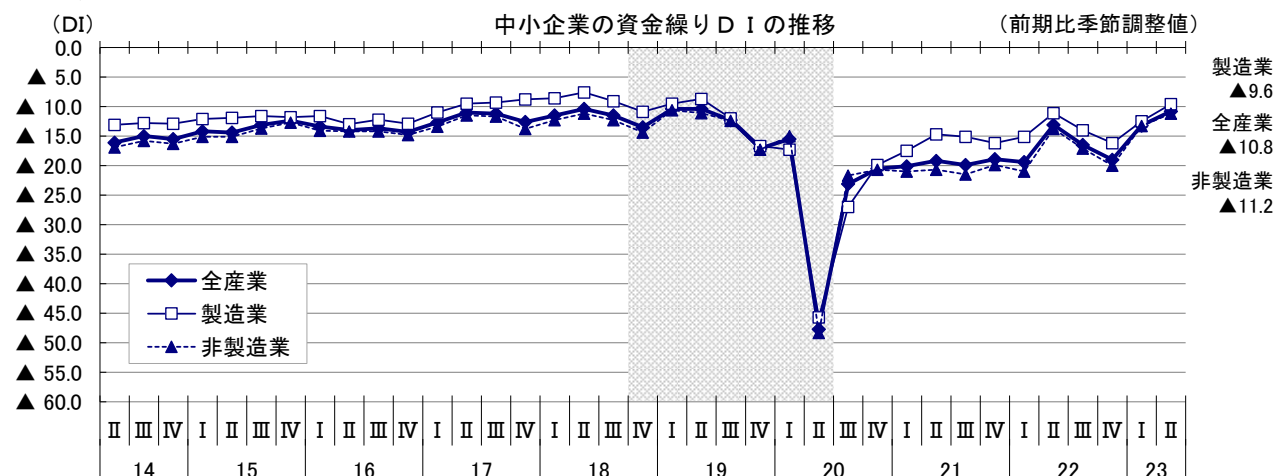
産業別に見ると、製造業で（前期▲6.9→）▲5.3（前期差1.6ポイント増）と2期連続してマイナス幅が縮小した。また、非製造業で（前期▲6.3→）▲4.4（前期差1.9ポイント増）と2期連続してマイナス幅が縮小した。



3. 資金繰りD I

全産業の資金繰りD I（「好転」－「悪化」）は、（前期▲13.2→）▲10.8（前期差2.4ポイント増）と2期連続してマイナス幅が縮小した。

産業別に見ると、製造業で（前期▲12.5→）▲9.6（前期差2.9ポイント増）と2期連続してマイナス幅が縮小した。また、非製造業で（前期▲13.3→）▲11.2（前期差2.1ポイント増）と2期連続してマイナス幅が縮小した。



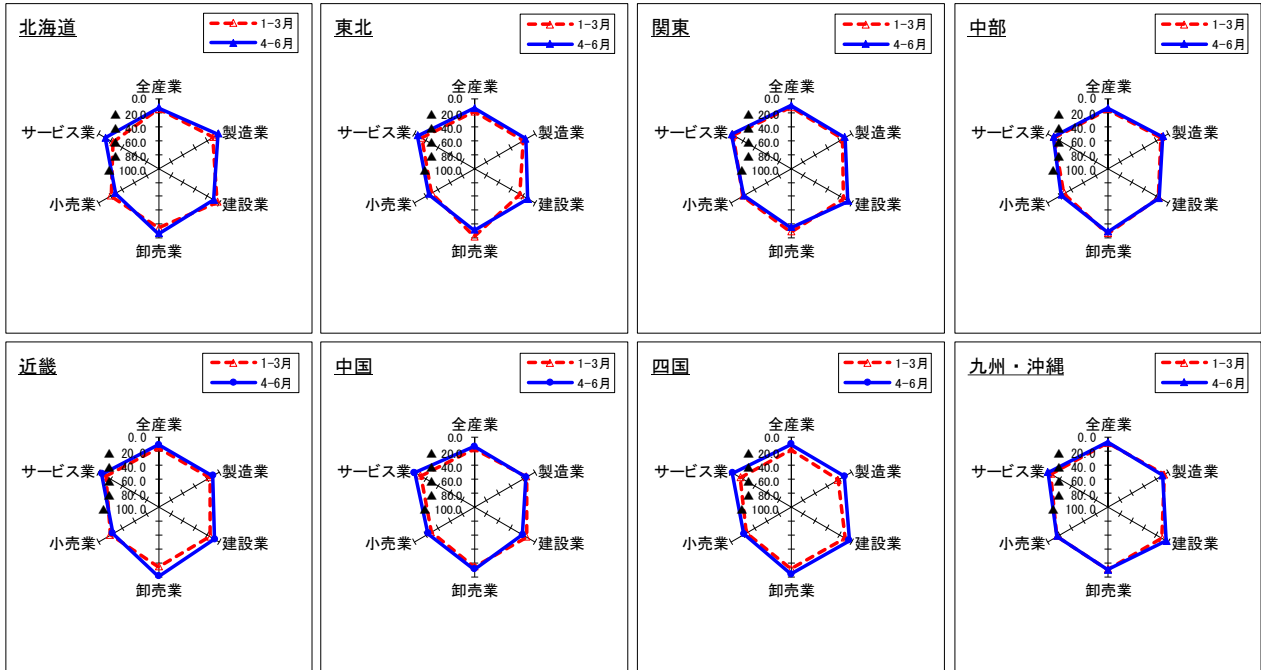
4. 設備投資動向

設備投資を実施した企業割合は、全産業で16.7%（前期差0.0ポイント）と横ばいとなった。

設備投資実施企業割合（実施企業／回答企業×100） 単位：%

	実績				来期計画	
	2022年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2023年 1～3月期	4～6月期	7～9月期
全産業	16.2	17.3	18.2	16.7	16.7	19.0
製造業	20.1	21.4	22.2	21.7	21.1	24.2
建設業	20.1	19.7	18.8	18.0	20.8	19.2
卸売業	18.1	17.7	20.3	20.4	19.3	20.7
小売業	11.5	12.6	13.1	10.9	10.6	13.7
サービス業	15.0	16.6	18.5	16.1	15.8	18.7

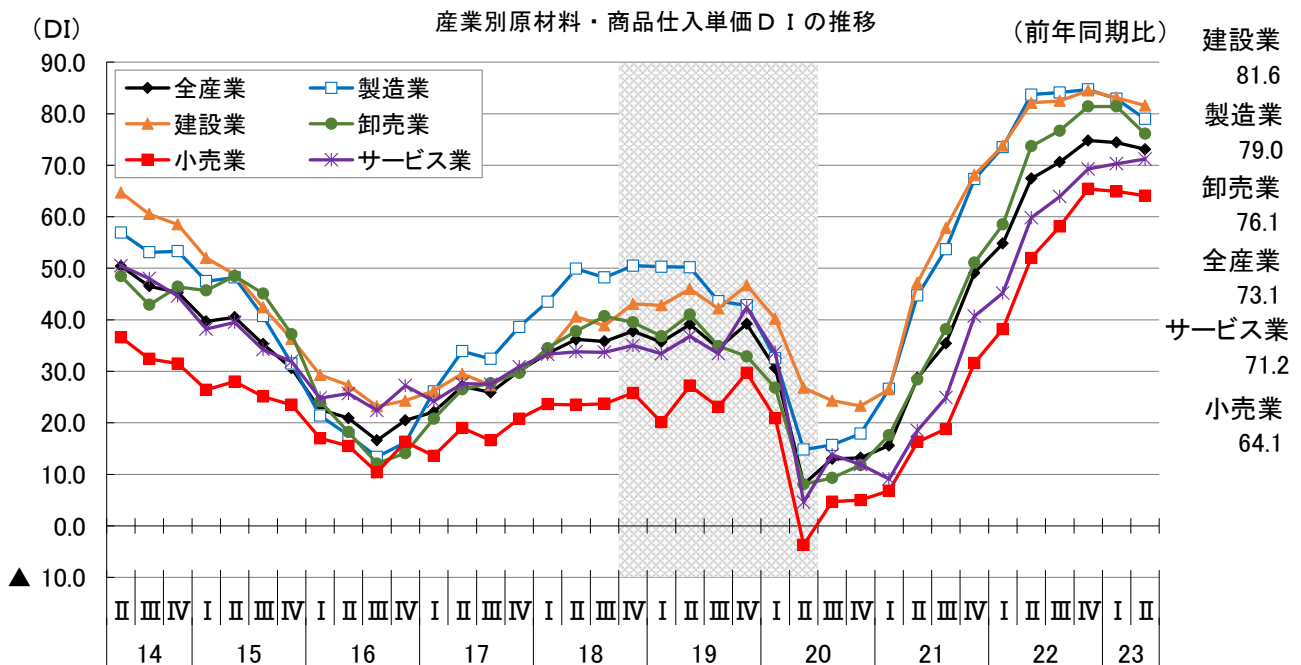
5. 各地域における産業別の動向



<トピックス> 原材料・商品仕入単価D I（前年同期比）の推移について

全産業の原材料・商品仕入単価D I（「上昇」－「低下」、前年同期比）は、73.1（前期差1.3ポイント減）と2期連続してプラス幅が縮小した。

産業別に見ると、サービス業で71.2（前期差0.9ポイント増）とプラス幅が拡大した。一方、卸売業で76.1（前期差5.3ポイント減）、製造業で79.0（前期差3.9ポイント減）、建設業で81.6（前期差1.5ポイント減）、小売業で64.1（前期差0.8ポイント減）とプラス幅が縮小した。



[調査要領]

- 調査時点：2023年6月1日時点
- 調査方法：原則として、全国の商工会、商工会議所の経営指導員及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し、聴き取りによって行った。
- 回収状況：中小企業基本法に定義する全国の中小企業で、調査対象数18,830のうち有効回答数18,088（有効回答率96.1%）